



2022年5月13日

各 位

会社名 内外テック株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 岩井田 克郎  
 (スタンダード・コード3374)  
 問合せ先 取締役 佐々木 政彦  
 電 話 03-5433-1123 (代表)

## 業績予想値と決算値との差異に関するお知らせ

2021年11月12日に公表いたしました2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)の通期業績予想値(連結)と、本日公表の2022年3月期決算の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想値と決算値との差異

2022年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2021年11月12日発表)	百万円 35,950	百万円 1,761	百万円 1,753	百万円 1,146	円 銭 328.84
今回実績(B)	37,551	2,121	2,107	1,541	442.17
増減額(B-A)	1,601	360	354	395	—
増減率(%)	4.5	20.5	20.2	34.5	—
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	26,734	1,049	1,037	743	247.31

#### 2. 差異の理由

半導体・半導体製造装置市場では、高速通信規格(5G)関連や車載向けをはじめとする幅広い用途での半導体需要の高まりを背景に、ロジックやメモリー、パワー半導体等の積極的な設備投資が継続し、成長基調が続きました。

FPD製造装置市場では、大型パネルには需要に一服感が見られたものの、リモートワークの定着を背景にスマートフォンやタブレット等のモバイル用の中小型パネルが堅調に推移しました。

このような環境の中、当社グループは徹底した感染症防止対策のもと、営業におきましては、お客様への商品やサービスの継続的な提供に努め、納期の徹底管理・代替品への提案を積極的に推進してまいりました。開発・製造におきましては、高真空/制御技術に対応する開発力強化のほか、今後、更なる需要の増加が見込まれております半導体製造装置の増産対応のため、技術者の研修派遣のほか、子会社である内外エレクトロニクス株式会社仙台事業所のクリーンルーム増設工事や、江刺事業所(岩手県:開発/製造工場)の新築工事等の設備投資を進めてまいりました。

この結果、半導体・FPD製造装置などの各種コンポーネンツ(部品)の販売及び受託製造事業における受注が年度を通じて好調に推移したことを主因に、「売上高」、「営業利益」、「経常利益」および「親会社株主に帰属する当期純利益」の実績値は予想値を上回りました。

以上